

令和元年度いしかわり山振興ファンド事業 採択事業一覧

(50音順)

申請者	代表者氏名	事業概要	区分
1 株式会社 アンテ Ante (加賀市)	なかみで たえこ 中巳出 妙子	《揚げ浜塩の製塩副産物を活用したコスメ等の商品開発》 製塩の過程で発生するにがり等の副産物には、豊富なミネラルが含まれているため、有効活用することで、廃棄量の削減を図るとともに、揚げ浜塩の生産拡大さらには製塩技術の継承につなげる。 ⇒廃棄されていたにがり等を活用した美容コスメ商品を開発するとともに、環境負荷に配慮した商品として、ブランド化を図る	生業
2 石川 食の アーティザン (七尾市)	かど や しげたか 角屋 滋隆	《能登の生産者グループによる地域食材の販路開拓》 生産者と首都圏のシェフをつなぐ食談会を開催することにより、生産者自ら地域食材を積極的に首都圏のレストランにPRすることで、ファンを獲得し、地元の農産物や水産物の需要拡大や所得増加につなげる。 ⇒生産者自らが首都圏に出向き、豊富な能登の食材を使った特別な食事会を開催 さらに、首都圏からシェフを招聘した食材ツアーをコーディネート	生業
3 映像ワーク ショップ (加賀市)	きむら のりゆき 木村 悟之	《東谷地区における郷土映像アーカイブの公開イベントの開催》 東谷地区は、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されており、集落の貴重な地域資源の風化消失を防ぎ、後世に継承する必要がある。 また、地域住民を巻き込んだ映像資料の公開イベントを開催することで、交流人口の拡大につなげるとともに、住民の関心を喚起し、集落存続を支援する。 ⇒歴史に残る郷土映像資料を収集し、整理保存するとともに、映像公開イベントを開催 また、住民の関心を喚起するため、他県の好事例の紹介等、勉強会を実施	イベント
4 株式会社 営農福井 (志賀町)	ふくだ ひとし 福田 均	《規格外の柿を活用したころ柿の生産》 柿生産者の担い手不足や高齢化により、摘蕾摘果が不十分となり、小玉化した柿は廃棄処分となっていたことから、規格外品を活用したころ柿の生産に取り組む。 また、加工手順の効率化・省力化により、作業負担を軽減させることで、生産者の所得の安定ところ柿産地の維持発展につなげる。 ⇒贈答用が多かったころ柿を自食用として商品化に取り組む さらに、製造作業を見直し、乾燥機の導入する等、効率化・省力化を図り、生産性を向上させる	生業

申請者	代表者氏名	事業概要	区分
5 有限会社 岡元農場 (能美市)	おかもと ゆたか 岡元 豊	《国造ゆずと特別栽培米による本みりんを活用した商品開発》 自社開発した特別栽培米コシヒカリを活用した本みりんは、味にクセがなく、さわやかな香りが特徴であり、果実との相性がよいことから、能美市特産の国造ゆずとコラボした商品を開発することで、能美市産のお米や国造ゆずの消費拡大を図り、生産農家の経営の安定化と新たな担い手創出につなげる。 ⇒国造ゆずの認知向上を図るため、国造ゆずと自社開発の本みりんを活用した商品を開発	生業
6 株式会社 奥能登元気 プロジェクト (輪島市)	おくた かずや 奥田 和也	《農福連携による奥能登の食材を活用した商品開発》 能登における第1次産業は、高齢化や担い手不足が進行し、衰退していることから、産地の維持や担い手確保を図るため、規格外品の農産物や海産物を有効活用した商品を開発することで、生産者の所得向上につなげる。 さらに、商品製造を就労支援施設に委託することで、障がい者の雇用を創出する。 ⇒奥能登地域のブルベリーや輪島ふぐ等の商品価値の低い規格外品を活用したレトルト商品を開発	生業
7 クリップワークス ClipWorks ノト NOTO (穴水町)	なが お つよし 永尾 剛	《ワインパミスを活用した商品開発》 ワイン工場の醸造過程で発生するパミス(搾りかす)は、ほとんど利用されることがないため、未利用資源を有効活用した商品開発を行うことで、ご当地ワインの更なる消費拡大と地域産業の活性化につなげる。 ⇒地元洋菓子店等と連携し、ワインパミスを活用した新商品を開発することで、地域一体となったブランド化に取り組む	生業
8 国造ゆず体験 事業プロジェクト (能美市)	あべ のりこ 阿部 乃里子	《国造ゆずを活用した体験教育プログラムの開発》 能美市の特産品である国造ゆずの生産農家が減少しており、高齢化と担い手の減少から、産地の存続が喫緊の課題となっている。 新たな担い手を確保するため、ゆず栽培の体験教育プログラムを開発することで、新たな担い手を呼び込み、産地の維持発展を図る。 ⇒地域の魅力を発信し、交流人口の拡大や定住促進につなげるため、能美市の食やゆず栽培等の体験教育プログラムを開発	生業

	申請者	代表者氏名	事業概要	区分
9	菜園生活 風来 (能美市)	にし た 西田 えい き 栄喜	<p>《加賀の特産野菜を活用したピクルスの開発》</p> <p>自社で多品種の野菜を栽培しているが、規格外品は、廃棄されていたことから、付加価値を高めて商品化することで、加賀の特産野菜の需要拡大や自社を含めた生産農家の底支えを図る。</p> <p>⇒加賀地域の生産農家と連携し、丸いも、人参、柚子等の規格外の野菜を活用したピクルスを開発</p>	生業
10	シンクアドク ライズ株式会社 (金沢市)	いえくら 家倉 へいはち 平八	<p>《養殖ドジョウを活用した加工品開発》</p> <p>七尾市内の耕作放棄地でドジョウの養殖をしてきたが、魚価安やコスト増により、経営の安定化が必要である。</p> <p>生産だけでなく、加工や販売に取り組み、付加価値を高めた商品開発により、所得増加を図るとともに、能登地域での販路開拓に取り組むことで、能登ドジョウの更なる生産拡大や耕作放棄地の解消につなげる。</p> <p>⇒規格外のドジョウを活用し、消費者の嗜好に合わせた商品を開発</p>	生業
11	株式会社 しななた (志賀町)	つちはし 土橋 ひろひさ 裕久	<p>《ドローンを活用したスマート農業の推進》</p> <p>大学と連携し、ドローンを活用した農作業の効率化に取り組み、これまで、長年の経験と勘により、目視で行ってきた圃場の管理が、ITの活用により、適切な施肥や適期での刈取りが可能となり、品質・収穫量の向上が図られることから、生産者の所得向上につながる。</p> <p>⇒赤外線カメラを搭載したドローンを活用し、画像解析することで、圃場管理の効率化を図るとともに、新たなブランド米として、首都圏にも販路開拓する</p>	生業
12	珠洲市蛸島地 区スローツーリ ズム推進協議 会 (珠洲市)	た なか 田中 みつひろ 満博	<p>《漁師町ならではの景観や暮らしを楽しむスローツーリズム》</p> <p>修学旅行の受入を機に、農家民宿群形成の機運が高まったのを捉え、県下有数の漁港や北前船時代の海商の屋敷が残る風景など固有資源を生かしたスローツーリズムを推進する。</p> <p>⇒農家民宿群の形成にあわせ、漁師町の自然や暮らしを体験する滞在メニューの開発の取組みを通じて、誘客の推進による地域の所得向上により、持続可能なスローツーリズムの構築を目指す</p>	モデル地区

申請者	代表者氏名	事業概要	区分
13 有限会社 ソイル・ラボ (志賀町)	のじり ひろみ 野尻 博美	《耕作放棄地におけるクズの堆肥化と薬草等の栽培》 大学と連携して、クズの堆肥化の実証試験に取り組み、牛糞や化学物質を使わない堆肥の製造が可能となった。 クズを防除し、開墾した農地を利用して、薬草や農産物の栽培することで、耕作放棄地の解消を図るとともに、薬草を使用した薬膳料理等の商品を開発することで所得向上を図る。 また、障がい者支援施設と連携して、農福連携の取組みとして、地域の雇用創出を図る。 ⇒クズ堆肥を活用した野菜、薬草等の栽培および薬草を活用した商品開発	生業
14 有限会社 ティ・エス・ピー (志賀町)	あら い みちお 荒井 道雄	《能登ウナギの養殖技術の向上と加工品開発》 近年、鰻の稚魚の不漁が続き、価格が高騰しているため、比較的資源豊富な海外産のビカーラ種の養殖に平成29年から着手し、出荷するまでに至った。 今後、飼料価格の高騰や市場価格に左右されない安定した経営を目指すため、缶詰等の加工品開発や販路拡大に取り組む。 ⇒飼料を改良し、品質の向上を図るとともに、規格外品のウナギを活用した缶詰を開発	生業
15 なかうみバン ザイプロジェクト (小松市)	きた て たかつぐ 北出 高嗣	《中海町における農業体験やキャンプ等、地域交流イベントの開催》 中海地区は、耕作放棄地の増加や若者の人口流出等、地域の活力の向上が求められている。地元企業や住民が一体となって、若者に人気のあるアウトドアを中心としたイベントを開催することで、地域の賑わい創出を図る。 ⇒イベントで地元食材を使った飲食店、農産物の直売、ものづくり体験等を実施し、地域の魅力を発信することで、豊かで活力のある地域づくりに取り組む さらに、収穫体験を実施することで、農業の魅力をPRするとともに耕作放棄地の再生につなげる	イベント
16 なかのとス ローツーリズム 協議会 (中能登町)	ふな き きよたか 船木 清崇	《能登上布やどぶろく等を活用したスローツーリズム》 中能登町は、全国でも珍しいどぶろくを醸造する神社がある。その伝統を地域振興に生かすため、町はどぶろく特区に申請し、認定を受け、どぶろく文化の振興を図っていたところ、他にも能登上布や古民家群など誘客に活用できる地域資源があることを再認識。「衣・食・住」の文化を味わうスローツーリズムを推進する。 ⇒地元高校とも連携し、資源調査やツアー企画に参画。誘客の推進により地域の所得向上が図られるとともに、地元高校とも連携することで人材を育成し、持続可能なスローツーリズムの構築を目指す。	モデル地区

申請者	代表者氏名	事業概要	区分
17 NPO法人 のとクリスマツツジの郷 (能登町)	おおじ 大路 あつお 篤夫	《のとクリスマツツジの英国への販路開拓》 のとクリスマツツジは、地域内イベントでの直売会など、広がりが限定的であったため、新たな販路の開拓が必要である。 英国王立園芸協会への苗木寄贈を契機に、英国輸出の販路を開拓するため、PR活動を行うとともに、生産者の高齢化が著しいため、安定した収入を確保することで、後継者の育成につなげる。 ⇒輸出用の苗木の研究と生産体制の確立と、英国での販路開拓のためのプロモーションを実施	生業
18 NPO法人 能登すずなり (珠洲市)	しげまさ 重政 やすゆき 靖之	《レンタサイクルを活用したガイドツアーの開催》 珠洲には、農村文化や食文化、歴史などの多様な地域資源があることから、農泊など、地域の自然・歴史・食を活かした体験ツアーを実施する。 また、レンタサイクルを導入して、珠洲の美しい田園風景など、里山里海の景観を眺めながら、自動車では味わえない特別な体験を提供することで、交流人口の拡大につなげる。 ⇒電動アシスト付きレンタサイクルを導入するとともに、ツアーガイド「おら案内人」と連携した体験ツアーを開発	滞在メニュー
19 農事組合法人 能登花見月 (中能登町)	なかやま 中山 いちろう 伊知良	《メイドイン中能登町の日本酒開発》 これまでオーダーメイド米の生産に取り組んできたことから、米栽培のノウハウを活かして、酒米の栽培に取り組む。今後、更なるブランド化と販路拡大を図るため、地元酒造会社と連携し、中能登町産の日本酒を開発する。 製造から販売まで、中能登町にこだわり、地元ならではの特産品を開発することで、地域活性化につなげる。 ⇒酒米の栽培に取り組み、地元酒造会社と連携した中能登町オリジナルの日本酒を開発	生業
20 ハイパー アイス Hyper Ice ロジスティクス Logistics 株式会社 (金沢市)	あさい 浅井 たかし 貴志	《特殊な冷凍技術を活用した魚介類の冷凍真空パック商品の開発》 北陸新幹線開業以降、県内の卸売市場における水産物の取扱量が増え、需要が高まっているものの、飲食業者は、安定した仕入れが難しく、商品の確保が課題となっている。 特殊な急速冷凍技術を活用することで、長期間の鮮度保持が可能となったことから、水揚げ集中時や需要の少ない時期の魚価の値崩れを防ぎ、高鮮度の水産物を、安定的に供給することで、廃棄ロスの低減や漁業者の収入増につなげる。 ⇒県内のブランド水産物の冷凍真空パック商品の開発および県内飲食店および県外、海外への販路開拓	生業

	申請者	代表者氏名	事業概要	区分
21	有限会社 ポムデーブ (輪島市)	いけはた としや 池端 隼也	《能登の料理人グループによる地域食材の活用推進》 能登の料理人と生産者が連携し、定期的に産地ツアーを開催することにより、消費者に生産者の思いを届けるとともに、産地としてのイメージを定着させ、地域食材の需要拡大につなげる。 ⇒能登の食材の魅力発信と知名度向上を図るため、県外の料理人を招聘した産地ツアーのコーディネートや都市圏で能登の料理人による食材PRイベントを開催	生業
22	有限会社 まつかぜ 松風産業 (白山市)	かぜ はじめ 風 一	《白山の伏流水を活用したクレソン産地化の取組》 クレソンは、暑さに弱いことから、白山の伏流水を利用し、夏場は白峰で栽培、冬場は積雪を避けて美川で栽培することにより、通年栽培が可能となる。 今後、「白山クレソン」として産地化を図り、耕作放棄地の解消につなげるとともに、新たな雇用の創出を図る。 ⇒白山の豊かな伏流水を活用して、農薬化学肥料不使用の安全安心なクレソンを栽培するとともに、白峰と美川の2地区で、安定した供給体制を構築 クレソンの未利用部位や規格外品を活用した商品の開発	生業
23	みい里山 ひやくしやう 百笑の会 (輪島市)	にしやま しげ お 西山 茂男	《茅の生産と農泊体験メニューの開発》 三井集落では、高齢化等により、茅葺家屋の維持管理が困難となっている。歴史的景観を持続的に保存するため、茅の確保と担い手の確保が必要である。 茅づくりの体験メニュー等を開発し、誘客を図るとともに、新たな担い手の確保を図る。 ⇒耕作放棄地を活用した茅の生産および農家民宿における茅づくりの体験メニューの開発	生業
24	株式会社 ミナトフーズ (七尾市)	おくむら のぶあき 奥村 宣明	《規格外の能登産野菜を活用した冷凍カット商品の開発》 共働き世帯など、冷凍のカット野菜の簡便商品のニーズは高いが、外国産や県外産のものが多いため、能登産食材にこだわった時短・簡便商品を開発することで、野菜の需要拡大を図るとともに、規格外野菜を利用することで、生産者の収入増につなげる。 ⇒規格外の能登産野菜等を使用した冷凍カット野菜の商品を開発	生業

申請者	代表者氏名	事業概要	区分
25 山中自然・文化蘇生会議 (加賀市)	かみぐち まさのり 上口 昌徳	<p>《山中温泉における植樹・紅葉イベントの開催》</p> <p>北陸新幹線の全線開業に向け、更なる誘客を促進するため、山中温泉の紅葉を活用し、地域が一体となって景観保全とともに山中温泉を周遊できるまちづくりを実施することで、新たな賑わい創出を図る。</p> <p>⇒イチョウの植樹や紅葉イベントを開催するとともに、山中温泉の魅力を発信するため、里山セミナー等を開催</p>	イベント
26 輪島朝市横丁 (輪島市)	さかした としひさ 坂下 利久	<p>《輪島朝市街における飲食店の開業サポート》</p> <p>輪島の朝市街は、飲食店や休憩スペースが少ないことから、屋台村を設営し、朝市を基軸とした地域の賑わいの創出を図る。さらに、地元の農林水産物を使った食品の提供により、地産地消の促進や消費拡大につなげるとともに、観光客へのおもてなし向上により、交流人口の拡大を図る。</p> <p>⇒新たに飲食店を開業しようとする者の開業支援として、朝市街に貸店舗を提供</p>	生業